

970世帯。

それは、風車1基で
支えることのできる暮らしの数。

自然の力を活用した発電に注目が集まっています。
たとえば風力発電。いま、一般的な大きさの風車1基で、
およそ970世帯分^{*1}の電気をつくることができます。

風力や太陽光など自然の力を活用した発電は、
天候によって発電量が左右されるという課題もありますが、
地球温暖化問題への対応や、
石油・石炭などの貴重なエネルギー資源の節約の面から
期待される発電方法の一つです。

九州電力では、風力と太陽光発電について、
2017年度までに現在の約3倍^{*2}の、
合わせて200万kWの導入に向けて取り組んでいます。

私たちは、
次の世代へと引き継ぐことのできる電気のあり方について考え、
低炭素社会の実現に挑戦していきます。

自然エネルギーをもっと。
九州電力は、歩み続けます。



九州電力

ずっと先まで、明るくしたい。